

北区GIGAスクール構想通信

み・ら・い

令和5年
2月号

東京都北区教育委員会事務局教育振興部 学び未来課 (03-3908-9273)

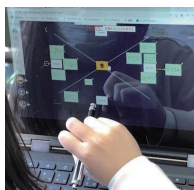
学校の取組から

各学校のICTを活用した学校運営や授業での取組を紹介します。

東十条小学校 2年国語「冬がいっぱい」

2年生の国語の学習では、四季に関する言葉を学習し、季節を捉える感覚や語彙力（ごいりょく）を豊かにしています。特に語彙力を豊かにすることは、コミュニケーション能力を高める大切な学習です。

児童は個人で冬に関する言葉を考えた後、グループで集約します。さらに「ロイロノート」で行事や動植物などに分類しながら、よく分からない言葉はインターネットで検索して進んで理解しようとしていました。次の時間は、お気に入りの言葉を使って「わたしの冬」という文章を発表し合いました。



としま若葉小学校 1年「プログラミング学習」

令和2年度から、小学校ではプログラミング学習が必修化されています。この学習では、実際にプログラミングを体験することでプログラムの基本的な特性やよさに気づき、コンピュータ等を上手に活用しようとする態度の育成を図ります。



命令のブロックを重ねて簡単にプログラミングができる Web サイトを使い、キャラクターが事前に考えた体操の動きをするように、友だちと教え合いをしながら楽しく完成させていました。

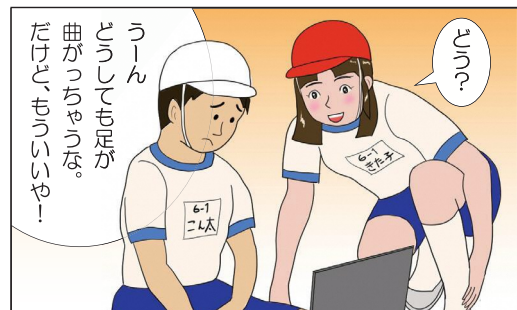
稲付中学校 1年生「情報モラル指導」

生徒にインターネットに書き込むときに注意することを考えさせるために、教師は架空の人物が生徒を誹謗中傷する発言をしたという設定を提示しました。生徒は問題点を考えて、「ロイロノート」を模したワークシートに書き出します。

その後、最初に伝えた情報が誤りであったことを知らせて、生徒はSNSの「情報の拡散」と「拡散した情報は取り消せない」という特性に気づきます。そして、問題点や注意すべき点をグループで話し合い、発表して学び合いました。



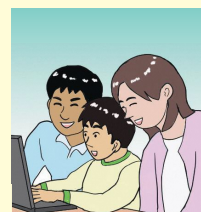
きんちゃんコンちゃん by Toshi



親子で情報モラルを学べる教材 SNS 東京ノート の紹介

東京都教育委員会は、平成28年度から情報モラルについて、児童・生徒が主体的に考え、学ぶための教材「SNS東京ノート」を作成しています。小学校1年生から高校3年生向けに5冊に分かれており、児童・生徒と保護者が一緒に学び合い、話し合う取組を推進しています。

内容は情報モラルを網羅しており、短時間で扱えるようになっていきますので、お子さんと話し合いながら課題に取組み、「SNS家庭ルール」をつくることをお勧めします。親子で課題を共有し、互いに相談しやすい関係づくりを通して、お子さんがよりよくSNSを活用できるようにしたいものです。



■ SNS 東京ノート <https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/snsnote.html>